

# 有害情報から子どもを守れ

電話会社やインターネット関連会社が、ネット上の有害情報から、子どもを守る取り組みを強化している。通話だけの携帯電話や専用の検索ツールなどを提供して、アダルトや出会い系などのサイトを閲覧できないようにする。

携帯やネットを悪用した犯罪が社会問題化する中、保護者の安心・安全への期待に応える。

KDDIは、小中学生向けに、登録した相手だけの通話と位置

## 通話だけ携帯や専用検索ツール

情報の発信、防犯ブザーに機能を絞った携帯電話を十月下旬に発売した。これまでも子ども向け携帯はあったが、インターネットの閲覧やメールを使えないようにしたことが特徴だ。

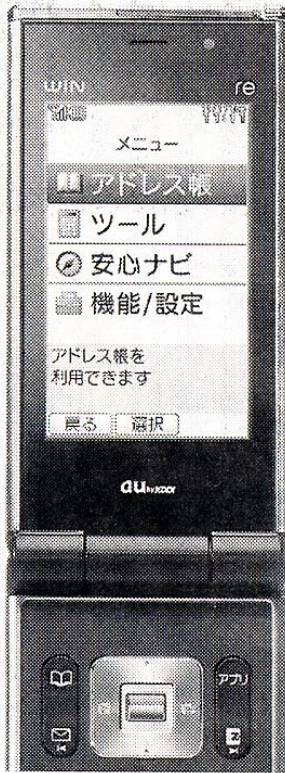
NTTレゾナントは、パソコンから有害情報サイトへのアクセスを防ぐ検索ツール「安心g.o.oステック」を無料で提供し始めた。閲覧ソフトに検索バーとして組み込んで使う。例えば「アダルト」と打って検索して

ネットの有害情報

インターネット上のポルノや出会い系サイトなど、青少年に有害な情報。携帯電話からのアクセスで犯罪に巻き込まれる事例が多い。携帯電話各社は来年1〜2月から、有害情報の閲覧を制限する「フィルタリング」サービスの対象を、すべての未成年利用者に拡大。携帯電話・PHSでの利用者は、今年3月末の342万人から9月末に454万人に増えている。

も、何も表示されない。

サイト監視事業を手掛けるイー・ガーディアン(東京)は十一月末にも、「学校裏サイト」の調査サービスを始める。悪口が書かれた投稿の削除手続きや、生徒に対するネット教育のアドバイスを学校側から引き受ける。



KDDIが発売した、小中学生向け携帯電話のメニュー画面